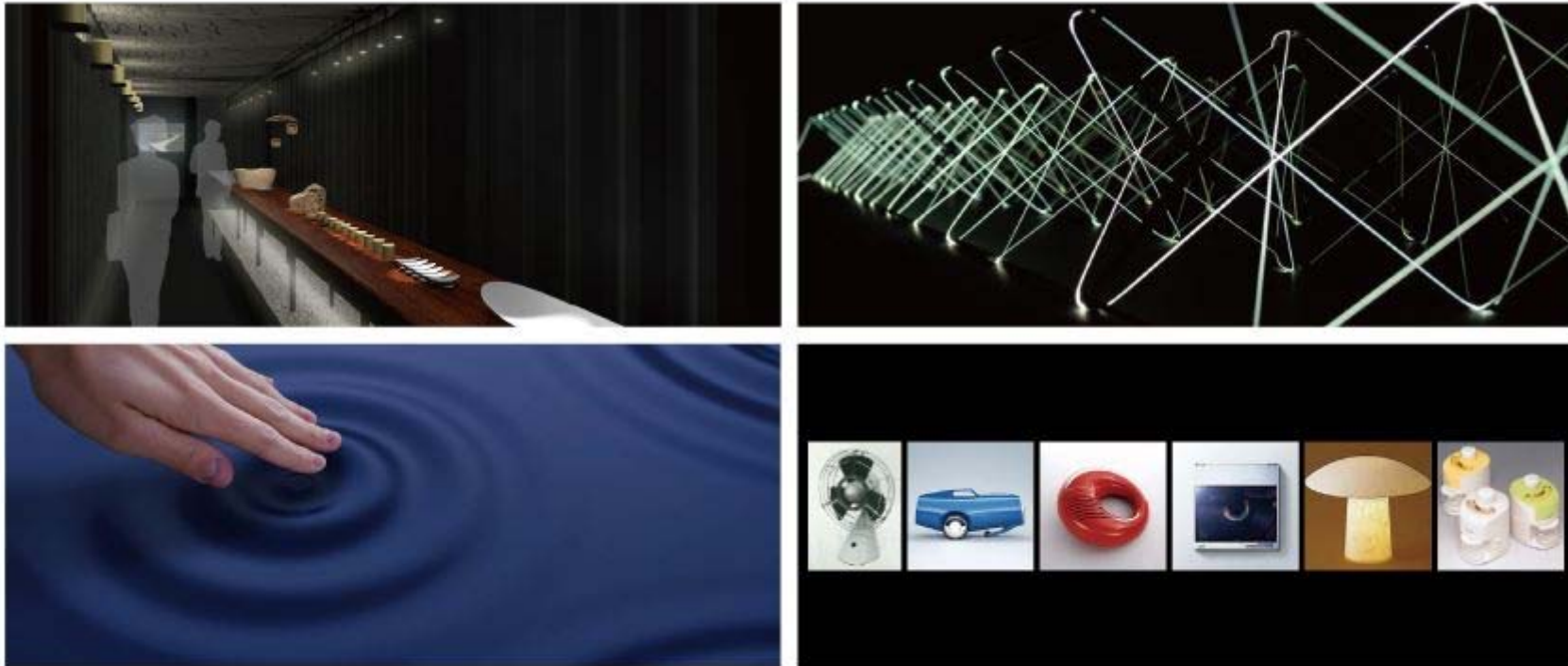


Panasonic

Panasonic Design 展



パナソニック株式会社	デザイン戦略室	室長	中野 二三康
アプライアンス社	デザインセンター	所長	白井 重雄
エコソリューションズ社	デザインセンター	所長	藤本 一彦
コネクティッドソリューションズ社	デザインセンター	所長	阿部 哲治

Panasonic Design 展

2

■主旨と展示テーマについて

2017年11月1日

パナソニック、デザイン部門はGOOD DESIGN EXHIBITION 2017と同期間に合わせてMid Town Design Touch 2017イベントの一つとしてPanasonic Design 展を開催いたします。

Panasonic Design 展は、これからの商品づくりやコンセプトづくりをより加速させるために、各カンパニーの若手デザイナーが取り組んだ、未来的なデザインのプロトタイプを展示します、それによりパナソニックデザインの魅力づくりと発信を目指します。

展示会のテーマは、「Hands-on Innovation ～これからの豊かなデザイン～」です。

家電、住空間、BtoBソリューションと当社デザインの領域は今後も広がっていきます。そして、パナソニックデザインの強みは、「ひとに寄り添い、新たな洞察を見出し、手触り感のあるかたちへと具現化させてきた」つまり、家電メーカーとしてのDNAです。（Hands-on には、くらしの現場で生活者とともに創りあげる姿勢を大切にすることと、人とモノ・コトの関係において手触り感のあるデザインを大切にしたいという思いをこめています）

このDNAを大切に、これからのくらしや社会のイノベーションに取り組んでいきたいと考えています。

展示作品はいずれも、未来のテクノロジーの進化と人との関係をデザインすることをテーマにデザインの本質的な部分である、人とモノ・コトの関係を見つめることや、美しさ、アート性にも力点を置き、テーマに取り組みました。

展示会では当社が2018年に創業100周年を迎えるにあたり、パナソニックデザインのDNAを振り返る意味で、過去のグッドデザインを中心にセレクトした製品も展示いたします。

展示会にご来場の皆様方に様々な意見、評価を頂きながら、今後のデザイン活動に生かしていきたいと考えています。なお、プロトタイプの実現について、現時点での商品化計画はありません。

今回の展示会は、パナソニックの3カンパニーのデザインセンターが開発主体となり、デザイン戦略室が全体をコーディネート。オールPanasonic Designの魅力づくりと発信を目指しました。

また、GOOD DESIGN EXHIBITION 2017との同期間開催により、デザイン関係者、デザイナーを目指す人、デザインに興味のある多くの皆様にご覧頂き、社会におけるデザイン振興の一助になればと存じます。

なお、当社は、2017 GOOD DESIGN AWARD 2017において84件の最多受賞とともに、BEST100に5件が入賞、一部に上位賞の内示を頂きました。それらは社会の課題解決に向けた、当社のデザイン開発の取り組みが評価されたものと考えています。

(※上位賞公表は11/1の18:30からです、受賞テーマはGOOD DESIGN EXHIBITION 2017の会場に展示しています)

Hands-on Innovation.

パナソニックデザインは、
ひとに寄り添い、新たな洞察を見出し、
手触り感のあるかたちへと具現化させてきました。
家電メーカーとして培ってきた、これらをDNAとして、
くらしや社会のイノベーションに取り組む思いを込めたメッセージです。

Hands-on Innovation～これからの豊かなデザイン～ 3つの未来コンセプトと過去のパナソニックデザインを展示		
①	<p>Electronics Meets Crafts: 人の記憶や五感に響く未来の家電 2017ミラノサローネ「Best Storytelling賞」受賞 開発：アプライアンス社デザインセンター</p>	<p>京都の伝統工芸後継者によるクリエイティブユニット「GO ON」とPanasonic Designとのコラボレーション。先進のエレクトロニクスと、数百年、日本のくらしを支えてきた伝統工芸が出会い、次の100年に向かって、新しい豊かさを生み出す家電をデザインしました。</p>
②	<p>WEAVING THE LIGHT 「光を編む」未来の光源でつくる明かりと空間 開発：エコソリューションズ社デザインセンター／デザイン戦略室</p>	<p>高輝度、直進性、多色制御が特性の次世代の光デバイスとして注目される「レーザー」。その特性を生かすために、ファイバーを応用し、糸を編むような手仕事の感性によって、住空間に新たな価値をもたらす明かりと空間をデザインしました。</p>
③	<p>Next Humanity 2030年の人間らしいくらし 開発：アプライアンス社デザインセンター FUTURE LIFE FACTORY</p>	<p>東京の未来に焦点を当て、2030年のくらしを描いた家電のコンセプトモデルを展示します。進化したテクノロジーやサービスを取り入れることで、私たちが本来持っている“人間らしさ”を、よりいっそう高めてくれるようなくらしのあり方をデザインしました。</p>
<p>Panasonic Design History パナソニックデザインの名品たち 開発：デザイン戦略室／コネクテッドソリューションズ社デザインセンター</p>		<p>時代とともに人々のくらしに寄り添ってきたパナソニックデザイン。来年の創業100周年を踏まえ、皆さまに愛されたデザインの過去製品を展示いたします。実物とともに感性に訴える立体プリズムサイネージでもご覧いただけます。</p>

Electronics Meets Crafts:

人の記憶や五感に響く未来の家電
2017ミラノサローネ「Best Storytelling賞」受賞

「GO ON × Panasonic Design」プロジェクトの目的は、家電と工芸の違いをただ対比することではなく、双方を単に結びつけることでもなく、長い歴史を背景に持つ道具の価値を現代の視点で掘り下げること、それら道具や家電によってもたらされる体験そのものの重要性に焦点をあてるものです。テーマは「人の五感や記憶に響く体験」。音を感じ、香りに触れ、道具を手にとり料理を味わう時間、多様なテクスチャーを五感でとらえる時間を通して、プロダクトデザインの本質について改めて考えます。また、家電のプロトタイプを介して、体験をデザインすることの可能性にも目を向け、これからの豊かさとは日本ならではの家電の可能性を探っていきます。

銀釉 gin-yu

朝日焼の伝統技法である銀彩とIH技術が結びつき生まれた磁器の湯盤。静かに置かれた器の水が沸き、湯気が立ちのぼるといふ驚きをつくりだす。「お茶を愉しむ」という日常の中の非日常を演出する。

響筒 kyo-zutsu

掌で音を感じ、触れるほどに変化する素材の表情を愉しむスピーカー。開化堂の茶筒の蓋の優雅な動きとともに、ふだん何気なく耳で聴く音を掌に伝わる振動で聴く、という新鮮な感覚を楽しめる。

月灯 gettou

光そのものを愉しむLEDペンダントライト。公長齋小菅の竹の編みが生み出す不規則な美しさ、加えて光の反射を活かし、眩しい光源が直接目に入らない月光のようなやさしい光。灯りそのものを愛でる豊かな時間の提案。

竹コロ take-koro

竹の隙間からこぼれる光を愛でるLED照明。“やたら編み、がもつ不均一で豊かな表情に、超小型LEDと一緒に編み込む。LEDの光を竹に透過させた焚き火のような熱を感じる光は、自然と落ち着く「ひと時」を生み出す。

網香炉 ami-kouro

体験、記憶を膨らませる香炉。電池式の熱源と先端素材のチタンとを組み合わせ、掌の中だけで香りを愉しむ事ができる。金網つじの緻密な菊の文様から立ちのぼる香りが、自分だけの世界にいざなう。

銀砂ノ酒器 ginsa-no-shuki

IHの非接触給電と冷却技術によって銀砂（金属粒）を冷やし、冷酒を愉しむ木桶。中川木工芸の白木の桶に広がる銀の砂。その中に器をうずめて冷やすという不思議な作法は、お酒の場に新たな感覚を生みだす。

織ノ響 ori-no-hibiki

織と音で空間を彩るスピーカー。細尾の西陣織の立体的な生地に手を触れると音を奏で始める。西陣織に織り込まれた金銀糸の通電性を利用し、生地そのものをタッチセンサー化することで実現。



WEAVING THE LIGHT

「光を編む」 未来の光源がつくる明かりと空間

強い直進性を有し、高輝度時における高効率性が特性の次世代光デバイス、レーザー。現在、レーザーデバイスは自動車のヘッドランプやプロジェクターなどに商品化されていますが、住空間目的にはまだ世の中に出されていません。今回は将来の住空間での応用を目指して、より安全性と効率性の高い、細いファイバーにレーザー光を入光するという技術を用い、その特性を活かした、新たな住空間価値を創出する明かりをデザインしました。

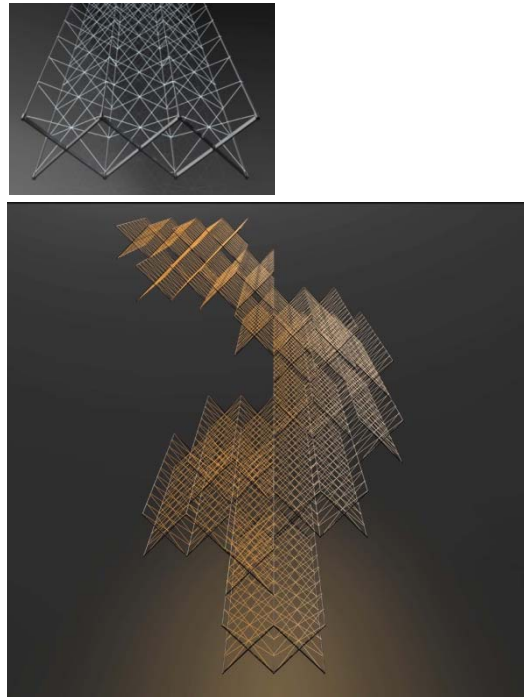
糸を編むような繊細な手仕事の感性との融合によって「光を編む」というコンセプトのもと、先進テクノロジーをクラフトの魅力で包み込みました。また、RGBのフルカラーコントロールにより、くらしの様々なシーンに潤いのある明かりと空間を演出します。

このプロダクトはモジュール化、ジョイント化することによって、連続性、拡張性を持ち、天井や壁といった様々な空間への設置、さらには公共空間や店舗等への展開も期待できます。

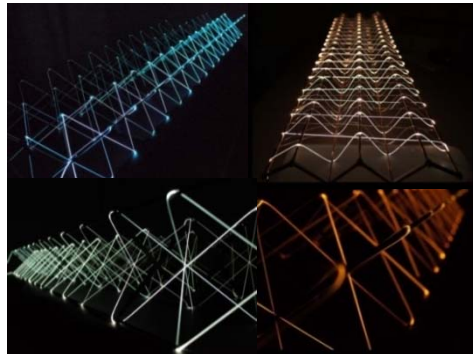
・ コンセプト：糸を編むように「光を編む」



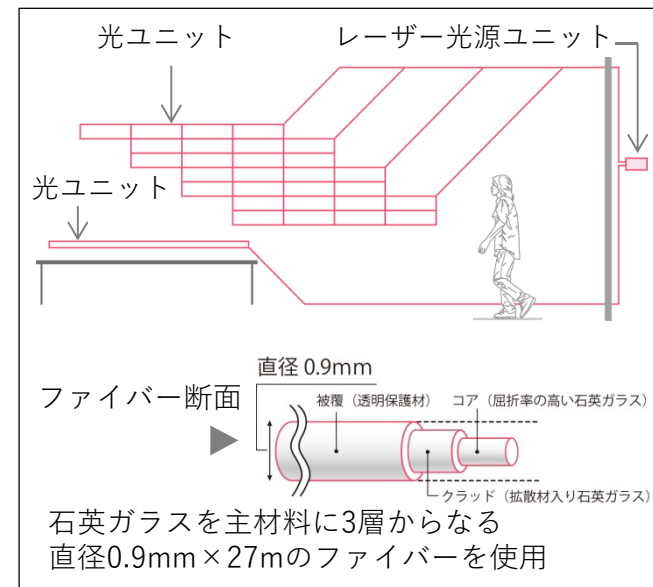
・ モジュール化と展開例



・ RGBフルカラーコントロール



展示会機器の構成：レーザー光源とファイバー



Next Humanity

2030年の人間らしい暮らし

6

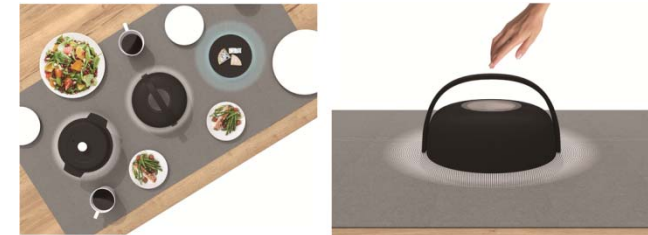
2030年の東京。そこは今より進化したサービスやテクノロジーであふれています。そんな未来に、パナソニックデザインが実現したいくらしは、合理性だけを追求するものでも、変化を拒むものでもなく、新しいサービスやテクノロジーを取り込みながらも、私たちが時代を問わず感じてきた人間としての喜びや楽しみをよりいっそう感じることができるくらしです。そうした考え方のもとに描く「2030年の人間らしいくらし」を3つのコンセプトで表現しました。

3つの「2030年の人間らしいくらし」提案

① Feast / どこでも宴になるくらし

時間や手間をかけず、一人でも健康的な食事を摂ることができる未来。そこでは、友人や家族、ソーシャルサービスでつながった人たちとも気兼ねなく集い、調理や食事を共に楽しむ時間が大切になると考えました。場所を選ばず調理や食事ができるエレクトリック・クロス「Feast」は、どこでも楽しい食の場が生まれるくらしを提供します。

【体験】エレクトリック・クロスをテーブルの上に広げ、調理器具を置くと、食事を温めたり、冷やしたりといった調理が可能です。調理機器をクロスの上に置くと、周囲が発光し調理が始まります。



機器を置くとクロスが発光し、調理が始まる

② Drip / やさしく世界とつながるくらし

あらゆるモノがネットにつながり、膨大な情報と向き合う未来。そこでは、自己とゆっくり対峙する時間を大切にすべきだと考えました。身の回りのものに関連する様々な情報から、気の利いたものを抽出し、しずくを落とすように空間に提示してくれるアンビエント・プロジェクター「Drip」は、やさしく世界とつながるくらしを提供します。

【体験】リビング空間に置かれた様々なモノに関連する情報を、波紋の映像と共に空間に美しく投影します。それらに手で触れることで、より詳しい情報を得ることができます。

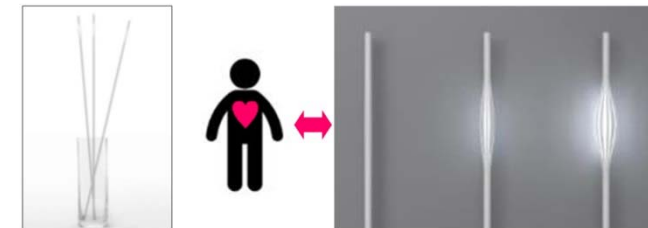


波紋に触れることでより詳しい情報にアクセスが可能

③ Bloom / 健やかさを育むくらし

あらゆるバイタルデータを生活の中でセンシングすることが可能になり、健康寿命がより重視されるようになった未来。そこでは、ヘルスケア商品やサービスに任せきりにせず、日々変化する身体に丁寧に向き合い、自分や家族のことを気づかう習慣こそが大切だと考えました。心や身体の状態に呼応し開花するバイタル・プラント「Bloom」は、日々の生活の中で健やかさを育むくらしを提供します。

【体験】生活の中でセンシングされたバイタルデータを基にした、ユーザーの健康状態を、蕾が膨らむような動きと、光の大きさと伝えてくれます。健やかな暮らしを続けることで、空間までも美しく彩られます。



健康状態に呼応し、蕾の膨らみや光の大きさが変化

Panasonic Design History

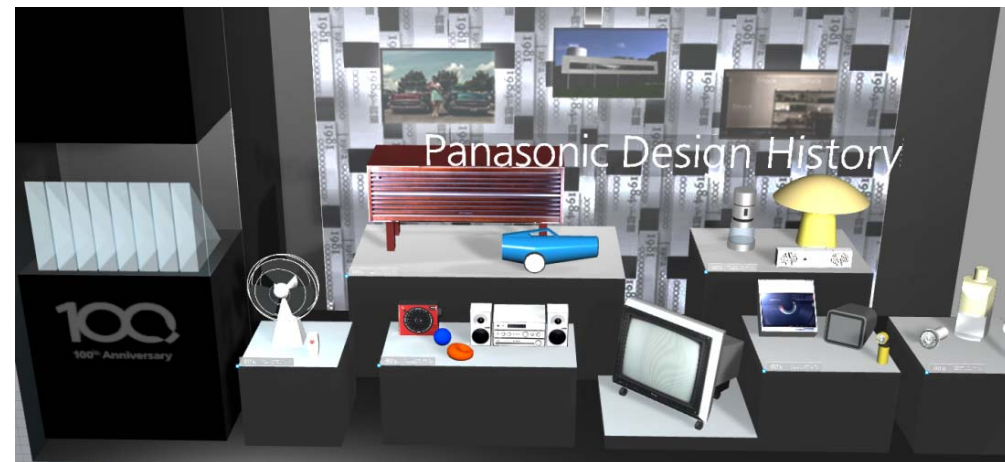
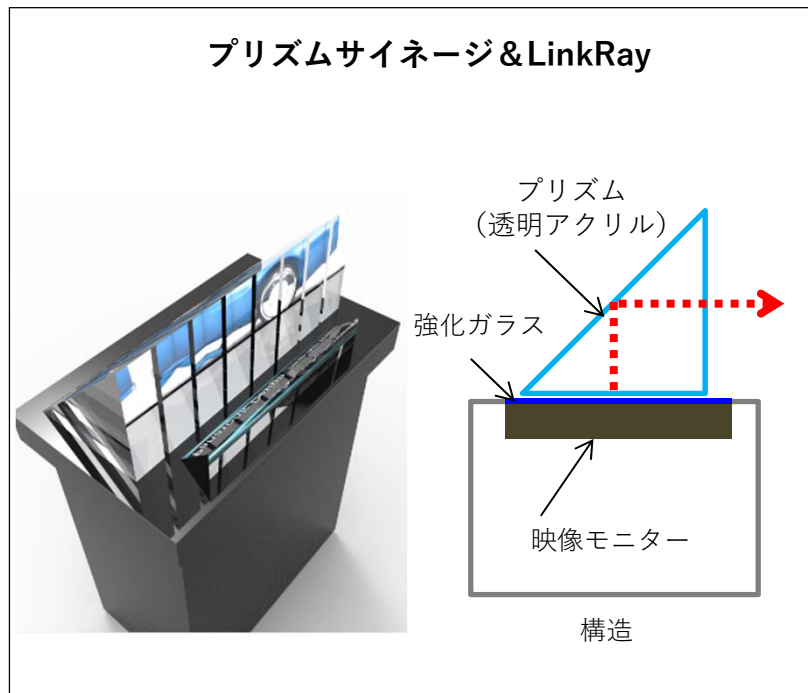
7
プレートの光にスマホをかざすと
過去のTVCMの動画へアクセス

パナソニックデザインの名品たち

時代とともに人々の暮らしに寄り添ってきたパナソニックデザイン。
皆さまに愛された過去のグッドデザインを展示いたします。
実物とともに感性に響く立体プリズムサイネージでもご覧いただけます。

ブース左の“PRISMサイネージ”では、実物ではご紹介できなかった商品を映像でお楽しみいただくことができます。さらにこちらにスマートフォンをかざしていただくと、LinkRayで最新の商業映像をご覧いただくことができます。

1950年代から10年ごとに6つのグループにまとめて展示。
製品はグッドデザイン上位賞を中心に選定。
各年代のネームプレートに、お手持ちのスマホをかざしていただくと、パナソニックの「光ID」ソリューションを活用した“LinkRay”が、その時代のテレビコマーシャルへと導きます。



50年代

扇風機
(1952)



シェーバー
MS10 (1955)



60年代

掃除機
MC-1000C (1965)



アンサンブルステレオ 飛鳥
SE-200 (1963)



70年代

ラジオ パナペットクルン
R-72 (1970)



メンズシェーバー
ES820 (1977)



コンポーネントステレオ
コンサイズコンポ (1978)



ラジオクーガ
RF-888 (1973)



80年代

レコードプレーヤー
SL-10 (1980)



テレビモニター アルファチューブ
TH28-DM03 (1985)



テレビ Piedra 8
TH-8U1 (1988)



懐中電灯 マイティフレキシブル
FF-102 (1985)



90年代

卓上ライト はなさび
現在和風シリーズスタンド (1994)



ポータブルオーディオシステム
RX-DT75 (1993)



コーヒーメーカーSEG
NC-A01 (1991)



00年代

ジューサーミキサー (白)
MJ-W100 (2000)



ヘアードライヤー ナノケア
EH5441 (2006)



電池がどれでもライト
BF-104 (2005)

